

本庄市身体障害者福祉会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、本庄市身体障害者福祉会と称する。

(事務局)

第2条 この会の事務局は、会長の指定したところに置く。

(目的)

第3条 この会は、身体障害者の自立更生と、会員相互の福利増進を図ると共に、共生社会の実現を図る事を目的とする。

(事業)

第4条 この会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1)身体障害者の自立更生に関する事業
- (2)会員の福利増進、向上を図るための事業
- (3)関係官庁及び団体との連絡及び協調に関する事業
- (4)その他、会の目的達成に必要な事業

第2章 組織

(組織)

第5条 この会に、本部と支部を置く。

2 支部は、本庄支部及び児玉支部とする。

(会員)

第6条 この会の会員は、会の趣旨に賛同する正会員、賛助会員及び特別会員とする。
賛助会員と特別会員においては市内外の居住は問わない。

(1)正会員

本庄市に在住又は在勤者で身体障害者手帳を所有する者とする。

(2)賛助会員

身体障害者(児)に理解があり、会の趣旨に賛同し、役員会で適当と認める個人法人、事業者及び団体とする。

(3)特別会員

身体障害者(児)に理解があり、会の趣旨に賛同し、会長が特別会員として適当と認める個人とする。

(入会)

第7条 この会に入会しようとする者は、所定の入会申し込み書により支部長を経由して、会長に提出するものとする。

(会費)

第8条 会員は、会の運営その他の費用に充てるため、会費を負担しなければならない。

2 この会の会費は、次の各号に掲げる額とする。

- (1)正会員及び特別会員は年会費500円とする。
- (2)賛助会員は年会費一口1,000円とする。

(会費の免除)

第9条 会員の事情により、会費の免除及び一時休止等については、支部長又は本人からの申し出のあった者については、三役会において協議し、これを決定する。

(会員の資格の喪失)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、その口を喪失する。

- (1)退会届の提出をした時
- (2)本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき
- (3)会費を、2年以上納入しないとき、ただし、前条に規定する会費の免除及び一時休止等を受けた者を除く。
- (4)除名されたとき

(退会)

第11条 この会を退会しようとする者は、所定の退会とどけを会長に提出するものとする
2 会長は、退会手続き完了後の役員会において報告を行う。

(除名)

第12条 次の各号のいずれかに該当する者は、役員会の議決により除名することができる。
(1)この会の名誉を甚だしく汚す行為をしたとき。
(2)この会の趣旨に甚だしく違反したとき。

(抛出金品の不返還)

第13条 退会し、又は除名された会員が、すでに納入した会費その他の抛出金品は、これを返還しない。

(部会)

第14条 この会に、第4条に定める事業を行うために必要な専門部会として、盲人部会、青年部会、自動車部会、体育部会、写真部会を置く。
(1)部会長、副部会長は、各部会において選出する。
(2)部会は、第4条に定める事業を行うとともに、専門事項について検討し、立案する。
(3)部会は、必要に応じて部会長が招集し、議長となる。

第3章会議

(会議の種類)

第15条 この会の会議は、つぎのとおりとする。
(1)総会
(2)三役会
(3)理事会
(4)役員会
(5)支部会議
(6)支部役員会議
2 総会は通常総会及び臨時総会とする。

(会議の招集)

第16条 総会、三役会、理事会、役員会は会長が招集し、支部会議及び支部役員会議は支部長が招集する。

(会議の定足数)

第17条 会議は、その構成員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。
但し、委任状の提出に因っても定足を満たす事とする。

(会議の議決)

第18条 会議の議決は、出席者の過半数以上の同意をもって決し、可否同数のときは、議長が決する。ただし、会議通知者に対し、委任状提出者は全権を議長に委任したものとみなす。

(総会の構成)

第19条 総会は正会員をもって構成する。

(総会の議決)

第20条 総会は、次の事項を議決する。
(1)会則及び諸規定の制定、改廃に関する事項
(2)事業計画及び収支予算
(3)事業報告及び収支決算
(4)役員の選任
(5)その他この会の運営に関する重要な事項

(総会の開催)

第21条 通常総会は毎年1回開催する。
臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。
(1)役員会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
(2)会員の半数以上の開催請求があったとき。
(3)総会の議長は、会長が指名した者が行う。

(三役会)

第22条 三役会は、会長、副会長、支部長をもって構成し、会長が必要に応じて開くことができる。

(理事会)

第23条 理事会は、本部役員、支部役員及び専門部会長をもって構成し次の事項を議決する。

- (1) 総会に提出する議案
- (2) 予算案の決定及び本会の運営、予算執行
- (3) その他会長において特に必要と認めた事項
- (4) 理事会議長は、会長が行う。

(役員会)

第24条 役員は、本部役員、支部役員及び専門部会長をもって構成し、つぎの事項を議決する。

- (1) 執行部会で提案された案件及び理事会に提出する議案
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他会長が付議した事項
- 2 役員会の議長は、会長が行う。

(支部会議)

第25条 支部会議は、支部の会員をもって構成し、支部長が必要に応じて開くことができる。

- 2 支部会議の議長は、支部長が行う。

(支部役員会議)

第26条 支部役員会議は、支部役員をもって構成し、次の事項を協議する。

- (1) 支部運営等に関する事
- (2) 支部事業及び支部予算の計画・立案に関する事
- (3) その他支部長において特に必要と認めた事項
- 2 支部役員会議の議長は、支部長が行う。

(専決)

第27条 軽易な事項は、会長及び事務局長が協議の上、専決することができる。
なお、専決事項については三役会に報告するものとする。

第4章 役員

(本部役員・支部役員)

第28条 この会に、次の本部役員及び支部役員を置く。

- (1) 本部役員
会長1名 副会長4名 事務局長1名 会計1名 理事若干名 監事2名
- (2) 支部役員
支部長1名 副支部長2名 支部会計1名 支部理事若干名

(役員の選出)

第29条 役員は次の各号により決定する。

- (1) 会長、会計及び監事は会員の互選により選出し、総会で決定する。
- (2) 副会長、事務局長は会長が指名し、総会で承認を受ける。
- (3) 理事は専門部会、支部の推薦を受け、総会で承認を受ける。
- (4) 支部長は、支部の選出を受け、会長が委嘱する。
- (5) 支部長を除く支部役員は、各支部で選出する。
- 2 本会に顧問、相談役を置くことができる。

(役員の職務)

第30条 役員は、それぞれの立場において会の運営、発展に寄与するとともに、次の各号の会務を司る。

- (1) 会長は、この会を代表し、会務を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時は、その職務を代行する。
- (3) 事務局長は、会長の命を受け、事務執行の任にあたる。

- (4) 会計は、この会の経理を担当する。
- (5) 理事は、理事会を構成し、会務の執行を決定する。
- (6) 監事は、会計を監査し、その結果を総会に報告しなければならない。
- (7) 支部長は、支部会員相互の親睦を計り、支部の総括にあたる。
- (8) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故ある時は、その職務を代行する。
- (9) 支部会計は、支部の経理を担当し、本部に報告する。
- (10) 支部理事は、各事業を担当するとともに、支部の運営執行の重要事項を協議し、支部役員会議に提案する。

2 顧問・相談役は会長の諮問を受け意見を述べることができる。

(兼任の禁止)

第31条 監事は他の役員を兼ねることはできない。

(役員の任期)

第32条 役員の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、原則として補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

3 役員は任期終了後においても、後任者が就任するまではその職務を行う。

(役員の解任)

第33条 役員に、役員として相応しくない行為があったときは、正会員の4分の3以上の同意により、これを解任することができる。

第5章 経理

(経費)

第34条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。

(1) 会費

(2) 賛助会費

(3) 寄付金

(4) 補助金

(5) 事業収入

(6) その他の収入

2 この会の運営を図るために、必要に応じて「特別会計」を設けることができる。
特別会計の運用については、別に定める。

(会計年度)

第35条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

第6章 補則

この会則は平成20年5月11日の本庄市身体障害者福祉会および
児玉町身体障害者福祉会合併総会の決議により有効とする。